

武庫南小だより

笑顔であいさつ 根気よく学び 思いやりの心をもつ

学校通信 2月号
令和8年2月2日

尼崎市立武庫南小学校
校長 大龍 正幸

「食」は人を良くする

武庫南小学校では給食週間を2月2日(月)の給食委員会による給食集会からスタートしました。武庫南っ子の皆さんが給食や食に関することに興味・関心を高め、理解を深められるよう取り組んでいきます。給食週間中には、給食委員が作成した給食に関するクイズや食べ物を大切にする意識を啓発する動画の配信、また、クラスで参加する「武庫南っ子豆掴みチャレンジ」、普段とは違い、先生たちが参加する給食放送等があります。楽しみにしておいてください。

さて、本校では給食週間以外にも基本的生活習慣の定着や食への意識の向上を目指して取組を進めています。その一つが、「ちょこっと食育」です。授業でつきたい力「めあて」はそのままに、食育の視点を取り入れて授業を展開しています。例えば、3年生では国語科で「すがたをかえる大豆」の学習に取り組みます。2月には、地域の農家さんをゲストティーチャーでお招きし、農家の仕事についての学習に取り組みます。また、給食では尼崎産の野菜「あま野菜」やお米を使った献立を取り入れ、地産地消の学習や地域学習へとつなげています。

食育基本法には、食は命の源。食育は生きる上での基本であり、知育・徳育・体育の基礎となるべきものと位置づけられています。また、子どもたちが「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できる食育を推進することが求められています。人生100年時代を見すえ、食べるという自分の欲求に基づき行動し、その結果から学ぶ自発的体験を繰り返し行うことで、子どもの主体性が育まれることにもなります。先日行われた、学校づくりアンケートでは、早寝・早起き・朝ごはんを実践している家庭が、全体の80%以上となっています。引き続き、子どもたちの健康な食生活へのご協力をお願いいたします。



給食室前の栄養黒板も、給食週間用にリニューアルしています。

心にゆとりを持とう

「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」年度末の慌ただしさを例えた言葉です。子どもたちには、3学期の始業式に「今年度中にできるようになったことを確認し、次年度へつなげよう」と伝えました。慌ただしくすぎてしまうのは少しもったいない気がするこの時期だからこそ、ゆとりを持って臨みたいと考えています。そこで、目線を変えてこのように読み替えてみました。

- 1月は、みんなで一緒に楽しむ時間を
- 2月は、ニッコリ笑顔で心にゆとりを
- 3月は、未来(新学期)に夢を

忙しさも楽しむ。そんなマインドセットで、残り35日(6年生は32日)余裕を持って過ごしたいものです。